

萩往還一升谷の植物相 その3



32【キブシ?】一升谷下流部

その2の31で、キブシではないかと思われるものを掲載したが、どうも、こちらがキブシのように思えなくもない。よくご存じの方、教えてください。



33【ミズキ?】一升谷下流部

たぶん、これがミズキだろうと思うけれど、自信がない。お分かりの方、これも教えてください。



34【マタタビ】一升谷下流部

写真とメモの順番からすると、マタタビになるのですが・・・



35【マメツタ】一升谷下流部

山間部ではごく普通に見られるツタ。



36【テイカツラ】一升谷下流部

白い花が咲くが、その花からは南国風の強い香りが均う。そのためツルクチナシとも呼ばれる。



37【ヌルデ】一升谷下流部

ウルシほどではないが、かぶれることあり注意。この実は、かつてはお歯黒の材料として使用された。また材質が柔らかく白いことから木彫の材料としても使用される。



38【ハギ】一升谷下流部

秋の七草のひとつ。万葉集では最も多く取り上げられている花だそうである。



41【アワブキ】一升谷下流部

水分量が多く、薪にすると切り口から水泡が出てくるので、燃えにくい。



39【フユイチゴ】一升谷下流部

常緑性のつる性の木。草ではない。美味しい実が楽しみ。



42【ヒノキ】一升谷下流部

杉と違って葉は刺々しくない。幹の樹皮は檜皮に使用されるので大きく剥げる。杉は縦に細く剥げる。



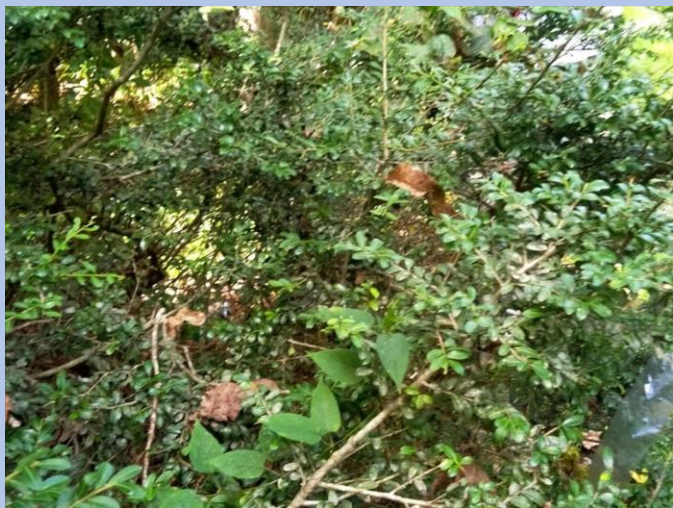
40【アオキ】一升谷下流部

サツマイナモリと、このアオキが研修会以前から知っていた萩往還の木と花である。このアオキ、葉も茎も緑だが、実は真っ赤である。また枝はどれも二股になっている。



43【チシャノキ】一升谷下流部

若葉はレタスのような味がして食べられるとのこと。幹は、かつて天秤棒の材料として使用されていた。



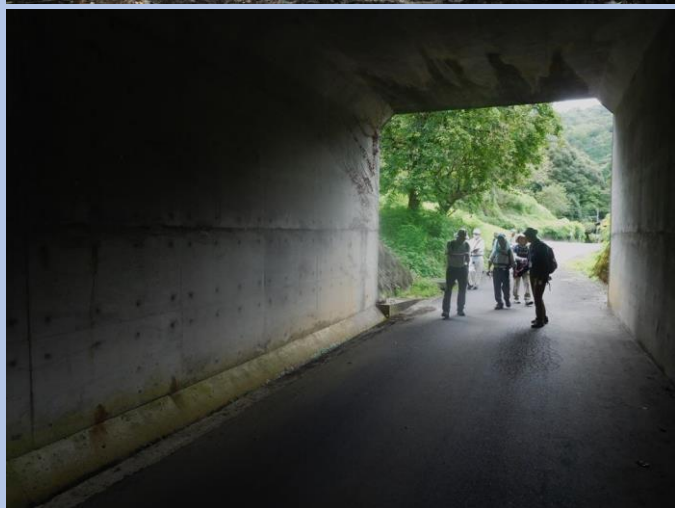
44【ツゲ】

「継げ」ということで子孫繁栄を願う木。香山墓地の毛利家の墓の上にも植えられている。またイカシバとも言われ、これを海に浸けておくとイカが卵を産むとのこと。

以下、不明分、お分かりの方はお知らせ下さい。



45【不明】 ハイイヌガヤカ



46【不明】 クリハランか

整理が悪く、メモと写真が一致しません。

ということで、不明分や？ばかりのレポートとなりました。また、写真のピンボケ分は割愛しました。メモには、ミスガヤ、ムガキ、ミスヒキソウ、ミノカサフジ、キツネノゴマ、キエビネなどと記していますが、それらしき写真ができません。

これは知ってる！というものがありましたら、是非お知らせ下さい。また、記載している植物名に誤りもあると思いますので、そちらもご指摘下さい。

研修に参加された皆さん、お疲れさまでした。